

ベニイカリモンガの兵庫県からの記録と大阪府での追加記録

植田 義輔¹⁾

1. はじめにーベニイカリモンガの本州での分布拡大ー

ベニイカリモンガ *Callidula attenuata* (Moore, 1879) は従来、国内では四国と九州の南部・五島列島福江島・種子島・屋久島・奄美大島・沖縄本島・石垣島・西表島に分布し(井上, 1982), 本州には分布していなかったが, 2003年に奈良県吉野郡川上村において記録された(植田・有本, 2004). その後, 本州からの記録は途絶えていたが, 2010年代に入って中国地方での記録が相次いだ. 文献記録について, 県ごとに初出の記録を挙げると, 2011年に広島県(福永・清水, 2014), 2012年に山口県(徳永, 2013), 2019年に岡山県(山田, 2019), 2021年に島根県(野津, 2022)となっている. 近畿地方では, 2016年に大阪府(春澤, 2017; 高群, 2019)で記録され, 2019年に奈良県(幸田, 2019)で再記録されている.

2. 兵庫県における記録

これまでベニイカリモンガの記録がないと思われる兵庫県において, 本種が確認されたので報告する.

〈データ〉

- ・1ex. (図1), 兵庫県佐用郡佐用町船越, 標高約230m, 19.X. 2019, 山内裕月採集.
- ・1ex. (図2), 同上, 9.X. 2021, 石川元貴採集.



図1. 佐用町昆虫館で採集されたイカリモンガ類 (2019年10月19日: 八木剛氏撮影). 左側がベニイカリモンガ.



図2. 佐用町昆虫館で採集されたイカリモンガ類 (2021年10月9日: 八木剛氏撮影). 右側がベニイカリモンガ.

¹⁾Yoshisuke UEDA 大阪府枚方市

解明することが挙げられる。また、本種は分布を拡大しつつある種であるため、佐用町はもとより、兵庫県における生息状況の変化に注目していくことが望まれる。

3. 大阪府における追加記録

大阪府におけるベニイカリモンガの文献記録は、2016年に千早赤阪村（春澤，2017；高群，2019），2020年に貝塚市（岩崎，2020），同じく2020年に堺市（徳原，2021）があり、いずれも大阪府南部の記録である。このほか、インターネット上では四條畷市で撮影された本種が掲載されているが、北部地域での文献記録は見当たらなかった。この度、筆者は大阪府北部の枚方市で本種を確認したので報告する。

〈データ〉

1ex. (図3)，大阪府枚方市穂谷，標高約220m，30.V.2021，筆者採集・保管。

枚方市の穂谷地区は、生駒山地の北端にあたる丘陵地である。落葉広葉樹林が卓越し、水田や畑がモザイク状に立地している。ベニイカリモンガの採集地点はモウソウチク林で、やや薄暗い環境であった。この竹林の林床植生は、丈の低いアオキや、シダ類がまばらに生育している程度で貧弱であった。採集個体は、地表から1m程度の高さを緩やかに飛翔していた。

なお、採集個体は翅の欠損や鱗粉の脱落が見られない新鮮な個体であり、遠方から飛来した個体ではなく、この周辺で発生した個体の可能性があると推測された。本種の寄主植物として、リュウビンタイ・ホウビカンジュ・イワヒトデ・オオイワヒトデが挙げられているが（岸田，2011），枚方市を含む北河内地域にこれらの分布記録は無い（北河内自然愛好会（編），2004）。ただし、飼育下では、オニヤブソテツ・クマワラビ・イノモトソウ・イシカグマ・ゼンマイを与えても摂食する（林，2009）とされており、ここでは、これらのシダ類を寄主植物として利用している可能性が考えられる。

今後の課題としては、当地に本種が定着しているのかどうかを明らかにすることが挙げられる。また、大阪府における生息状況の変化に注目していくことが望まれる。

謝辞

佐用町昆虫館においてイカリモンガ類を採集し、標本を残された昆虫館キッズスタッフの山内裕月君と石川元貴君、彼らの採集記録を提供していただき、報告を勧められた兵庫県立人と自然の博物館の八木剛氏、文献の閲覧にお取り計らい下さった元・大阪市立自然史博物館の初宿成彦氏、奈良県の文献をご恵与下さった元・大阪市立自然史博物館の宮武頼夫氏、和歌山県の文献を調査



図3. 大阪府枚方市で採集されたベニイカリモンガ(2021年5月30日)。

していただいた和歌山県立自然博物館の松野茂富氏と熊谷直子氏、岸和田市の文献を調査して頂いた、きしわだ自然資料館の平田慎一郎氏、文献調査にご協力いただいた日本蛾類学会の枝恵太郎氏、以上の方々に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 福永みちる・清水健一，2014. ベニイカリモンガの発見. 広島虫の会会報，(53)：73.
- 春澤圭太郎，2017. 大阪府南部の昆虫相の記録～補遺～. 南大阪の昆虫，19(2)：18-37.
- 林 悦子，2009. ベニイカリモンガの新食草. 蛾類通信，(253)：65-66.
- 井上 寛，1982. イカリモンガ科. 井上寛ほか，日本産蛾類大図鑑，1：579，2：312，pl 110. 講談社，東京.
- 岩崎 拓，2020. イカリモンガとベニイカリモンガ. 自然遊学館だより，(97)：10-11.
- 岸田泰則，2011. イカリモンガ科. 岸田泰則（編），日本産蛾類標準図鑑，1：112. 学研教育出版，東京.
- 北河内自然愛好会（編），2004. 北河内植物目録. 北河内自然愛好会，大東，150pp.
- 幸田保雄，2019. 明日香村祝戸地区公園でベニイカリモンガを観察. ならがしわ，(194)：1.
- 野津幸夫，2022. 島根半島でベニイカリモンガを採集. すかしば，(69)：36-37.
- 高群哲也，2019. 本州では稀少な蛾の採捕について. 南大阪の昆虫，21(2)：37.
- 徳原一浩，2021. 堺市でベニイカリモンガを発見. 南大阪の昆虫，23(1)：5.
- 徳永浩之，2013. 山口県におけるベニイカリモンガの初記録. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書，(5)：53-54.
- 植田義輔・有本 智，2004. ベニイカリモンガの本州からの記録. 月刊むし，(400)：55-56.
- 山田 勝，2019. 岡山市東区瀬戸町でベニイカリモンガを確認. しぜんしくらしき，(111)：6.